



令和7年度 第2回初級講習会



報告



令和7年度 第2回初級講習会を、11月12日(水)～11月21日(金)の内、5日間で開催しました。各先生からは援助の現場ですぐに役立つ内容をご講義いただき、充実した講習会になりました。

参加者は講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身につけようと熱心に受講されました。



バンダナを使った応急処置



手作りおもちゃ



子どもの遊び

松山市こども家庭部 保育・幼稚園課
野本 智恵 先生 松浦 ゆかり 先生
鵜久森 真弓 先生

子どもの成長に合わせた遊びの紹介や、手遊びや絵本の読み聞かせを実際に見せていただきました。また、身近にあるもので楽しく遊べるおもちゃの制作実習を行いました。

受講者の声

月齢に沿って色々な工夫をし、大人も楽しみつつ遊べるといいなと思いました。危険なものを常に心に留め、子どもさんの笑顔が見られるようにしたいと思います。



保育のこころ

松山市こども家庭部 保育・幼稚園課
野本 智恵 先生 松浦 ゆかり 先生
鵜久森 真弓 先生

乳幼児期の発育とかかわりについて、年齢ごとの発達状況や対応の方法について詳しく教えていただきました。また、子どもの事故を防ぐための注意点を学びました。

受講者の声

子どもの成長の身体・心について、それぞれ大切な時間がある事を学びました。子どもの成長には家族の愛情や、大人の心の余裕が必要であると身に沁みました。支援の必要な方たちに援助できるよう情報収集したいです。



安全・事故・救命講習

日本赤十字社 愛媛県支部
事業推進課長 平野 昇 先生



一次救命処置(心肺蘇生)の方法を、実際に人形やAEDを使用し何度も実習を行いました。胸骨圧迫では成人と小児(未就学児)の仕方の違いや気道確保、異物除去の方法を教えていただきました。

受講者の声

実技と聞いていたので少し緊張していましたが、AEDの使用について、心停止をもとに戻すのではなく、けいれん状態を解除するための機器と説明を聞いて身近に感じることができ、AEDを使用することに抵抗がなくなったようです。必要な時は積極的に関わっていきたいと思います。

身体の発育と病気

石丸小児科
院長 中野 省三 先生

子どもの成長・発達の多様性や、子どものかかりやすい病気では、発熱時や痙攣時の対処方法を教えていただきました。また感染症やアレルギー疾患についても幅広くご講義いただきました。自己判断しない大切さも学びました。

受講者の声

- ・自分の子育て中には今ほど細分化されていなかったのがウイルス感染系の病気の多さにびっくりしました。
- ・病気については原因がわからないことが多く突然の対応を迫られた場合、うまく対処できるか不安です。もっと勉強する必要があると感じました。



子どもの心の発達と その問題

児童発達支援センター あゆみ学園
児童発達支援管理責任者 今村 高博 先生

発達障害の特性とその2次障がいについて学び、子どもとの関わり方(アセスメント・行動観察、着目、整理、記録)し、原因を推測し環境を整備・見通しを立てることの重要性、伝え方や肯定的に褒めることも大切であるのご講義いただきました。

受講者の声

よく耳にする発達障害や自閉症について、知っているようで知らなかったことを気付かせていただきました。それぞれの特性や関わり方など、わかりやすく教えていただき、実生活でも活かしたいと思いました。



看護の基礎知識

日本赤十字社 愛媛県支部
看護師 鵜久森 陽子 先生

「子どもに多い事故と予防」について、屋外や室内で事故の誘因になる場所やものについて、また事故の予防についてご講義いただきました。子どもの気になる症状と手当では、応急処置としてバンダナやストッキングを使用する方法を学びました。

受講者の声

小児看護の基礎知識、とても勉強になりました。子育てからも遠のいていきますし、おもちゃの種類も変わってきてるので、誤飲には十分気を付けないといけないと思いました。



子どもの世話

NPO法人 子どもリエゾンえひめ
保健師 星田 ゆかり 先生

子どもの呼吸・脈拍・体温調節機能・消化機能・排泄機能・脱水・免疫機能・神経系の発達・睡眠・清潔について、子どもを預かる上での注意点を含め分かりやすくご講義いただきました。

受講者の声

子育てしていた時の答え合わせができた、うつ熱など新たに知ることも多かったです。3か月検診など子育ての早い時期にこういう講座が聞ける機会があるとすごくよいと思います。睡眠や水分摂取の事も今の自分にも役立ち、よかったです。



子どもの発達段階に応じた効果的な関わり方



えひめ子育てサポートラボほっこりん
主宰 玉井 利江 先生

子どもの発達段階に合った効果的な関わり方では「共感・理解・見守り」を基本に、効果的なコミュニケーションや、子どもができている当たり前の行動に注目する「ポジティブ行動支援」について実践を交えながらご講義いただきました。

受講者の声

人とのコミュニケーションの取り方の難しさを実感しました。大事なことはプロセス。少しずつできることから始めようと思いました。褒めることの大切さを考えることができたように思います。

子どもの栄養と食生活

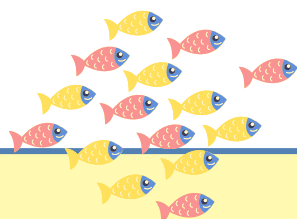
株式会社 ヘルシープラネット
管理栄養士 今川 弥生 先生



子どもの栄養と食生活について、離乳食から幼児期の食生活や生理的特徴と発育・発達について、エピソードを交え詳しくご講義いただきました。「食事はバランスよく楽しく食べる」子どもの食育の大切さを学びました。

受講者の声

出産した30年前と、栄養学の面でも変わっていることが多く自分の常識を変えていかねばと痛感しました。いつまでも元気で社会貢献ができるよう、自身の食事についても学ぶことができました。



虐待防止講習 /事業を円滑に進めるために

こども家庭センター こども相談課
茅野 裕一郎 先生 柴田 枝里子 先生

まつやまファミリー・サポート・センター
アドバイザー

ファミリー・サポート・センターの意義と役割について、また援助活動のしくみ等の説明を行いました。

その後、こども家庭センターの方をお呼びして虐待防止講習を行いました。

受講者の声

- ・虐待があった場合の流れ、連絡をすることの大切さがよく分かり、勉強になりました。
- ・自分はファミサポを利用することを思い付きませんでした。もっと広く知られれば助かる人も増えると思いました。



熱心にご受講いただき
ありがとうございました



参加者
5日間10講座
延べ86人

提供会員資格取得者
7名